

# 忍の風

忍中学校だより  
自ら学び ともに鍛え 未来を拓く 自治 協同 勤勉  
第9号 令和8年1月8日発行 生徒数 317名

## 『駅伝』をとおして思うこと

行田市立忍中学校長 石崎 昌稔

新年明けましておめでとうございます。本年も、どうぞよろしくお願ひします。

さて、令和8年、2026年は「午（うま）年」です。馬は昔から人とともに歩み、遠くまで力強く走り続けてきました。目的に向かってまっすぐ進む姿、仲間と呼吸を合わせて前へ前へと進む姿は、まさに「成長」と「挑戦」の象徴です。3学期という一年の総仕上げとなるこの時期に、午年のスタートを切る皆さん一人ひとりにも、自分の目標に向かって、ここからさらに加速してほしいと願っています。

1年生のみなさん。1月にはスキー学校があります。慣れない雪の中での生活や活動は思い通りにいかないこともあるでしょう。しかし、だからこそ自分自身と向き合い、仲間と支え合うことの大切さを学ぶことができます。この経験を通して心も体も一回り大きく成長してください。4月には後輩が入学してきます。みなさんは中堅学年となり、部活動や生徒会活動、さまざまな行事で2年生を支える立場になります。忍中学校の「土台」としての自覚をもち、行動で示してくれることを期待しています。

2年生のみなさん。1月には職場体験が控えています。社会の一員として働く人々の姿を間近で見ることは、自分の将来を考える大きなきっかけとなるはずです。学校の中だけでは得られない学びを、自分の生き方に結びつけてください。そして、これからは3年生に代わり、部活動や生徒会活動の中心として忍中学校を引っ張っていく存在になります。みなさん一人ひとりの姿が、忍中学校の「顔」となります。自覚と誇りをもって行動してください。

3年生のみなさん。いよいよ進路決定という大切な時期を迎えました。目標に向かって努力を重ねる日々は、不安や迷いも伴うことでしょう。しかし、これまで積み重ねてきた自分自身の歩みを信じ、一日一日を大切に過ごしてください。3月13日には卒業の日を迎えます。仲間とともに過ごす残りの日々を大切にし、忍中学校の歴史に残る最高の卒業式を自分たちの手で創り上げてほしいと思います。

ところで、お正月みなさんはどのように過ごしていましたか。私は1月1日、2日、3日と駅伝競走をテレビで視聴するのが恒例です。1日は群馬県で開催された第70回全日本実業団対抗駅伝競走大会（いわゆるニューイヤー駅伝）、2日、3日は第102回東京箱根間往復大学駅伝競走（いわゆる箱根駅伝）です。ニューイヤー駅伝は100kmを7人で、箱根駅伝は往復217.1kmを10人で走ります。毎年この3日間が楽しみなのです。私は行田市の出身で中学生のころ、市内駅伝大会や北埼玉地区駅伝大会に出場していました。また大学では同好会の陸上競技部に所属し、3年生の時主将を務めました。お世辞にも速いランナーとは言えませんでしたが、この駅伝の時期になると今でもワクワクします。どちらの駅伝も予選会を勝ち上がった限られたチーム、選手しか走ることができません。ここに出場する選手は、すごい人ばかりなのです。

私は、毎年この『駅伝』をとおして、走っている選手から元気と勇気をもらって1年が始まります。またいろいろと学ぶことがある『駅伝』でもあります。何か事を成すには体力と精神力、技術（心技体）がとても重要なこと、緊張状態の中で実力を発揮することがとても難しいこと、練習・鍛錬の日々は裏切らないこと、仲間の繋いだ襷（たすき）の重み、仲間を思いやる心・絆の意味、諦めない心など。見る人に感動を与えてくれる『駅伝』をこれからも私は応援したいと思います。

## 日本遺産「行田の足袋のストーリー」の展示

12月1日（月）から15日（月）まで、行田市の日本遺産『和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田』に関する資料が生徒玄関前で展示されました。これは市文化財保護課の方が、かつて日本一の足袋生産を誇った行田について知ってもらおうと、各学校にて巡回展示を行っている取組です。忍中生も多くの生徒が行田の伝統を知ろうと、足を止めていました。



## 芸術鑑賞会「大蔵流狂言」

12月2日（火）、産業文化会館ホールにて、文化芸術鑑賞・体験推進事業 ユニバーサル公演 「大蔵流狂言 芸術鑑賞会」を開催しました。狂言は700年余り続く伝統と格式を誇る演劇です。プロの狂言師が演じる舞台を実際に観賞したこと、日本文化の素晴らしさと奥深さを味わうことができました。



## 救命講習（救命入門コース）（2年）

12月8日（月）、第3・4校時に救命講習（救命入門コース）を実施しました。行田市では、市内すべての中学校2年生が心肺蘇生法を学びます。行田消防署の救急救命士2名、市内の小・中学校の応急手当普及員の先生7名、行田市教育委員会の先生1名、計10名の講師の先生に来校いただき、本校の体育科と養護の先生の協力のもと、救命について学びました。



日	曜日	主な行事等	日	曜日	主な行事等
1	木	元日 冬季休業日（～7日）	17	土	
2	金		18	日	
3	土		19	月	
4	日		20	火	スキー学校（1年） 職場体験（2年）
5	月		21	水	
6	火		22	木	県内私立高入試集中日 (3年給食あり)
7	水		23	金	A日課、清掃なし 3時間目登校（1年）
8	木	始業式	24	土	
9	金	給食開始 競書会（1,2年） 実力テスト（3年）	25	日	
10	土		26	月	
11	日		27	火	電子出願（～2/10 3年）
12	月	成人の日	28	水	
13	火	競書会（3年）	29	木	
14	水	清掃なし 生徒会朝会 専門委員会	30	金	
15	木	清掃あり	31	土	
16	金				

【1月下校時刻】部活動終了 16時45分 完全下校 17時00分